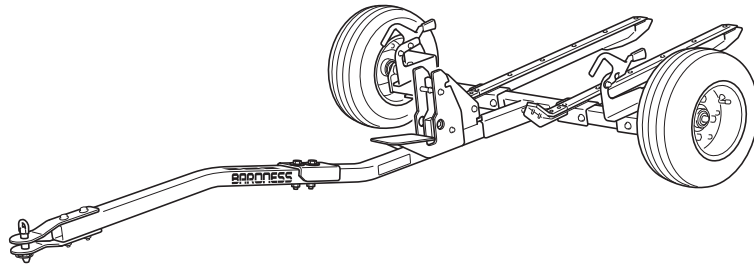


TR50

EZ キャリー

取扱説明書



Serial No. TR50 : 10376-

「必読」
ご使用前に必ず本書をお読みください。

BARONESS[®]
Quality on Demand

Ver.1.2

ごあいさつ

このたびは、バロネス製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書は、この製品の正しい取り扱い方法と調整方法、また点検方法について説明しています。
いつまでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただきますようお願いいたします。

本書を読んで製品の使用方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑のかからない、適切な方法でご使用ください。

この製品を適切かつ安全に使用するのをお客様の責任です。

この機械のメンテナンスは、専門知識のある整備士が実施してください。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽にパロネス販売代理店または弊社にお問い合わせください。


お問い合わせの際には、必ずこの製品の型式と製造番号をお知らせください。

この製品を貸与または、譲渡する場合はこの製品と一緒に本書をお渡しください。

株式会社 共栄社

危険警告記号の説明

本書では安全に関する重要な取り扱い上の注意事項について、危険警告記号を使用し、次のように表示しています。

 696cq5-001	危険警告記号
<p>この記号は「危険」「警告」「注意」に関する項目を意味します。 いずれも安全確保のための重要事項が記載してありますので、注意してお読みいただき、十分理解してから作業を行ってください。 これらを遵守されない場合、事故につながるおそれがあります。</p>	
<p>⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。</p> <p>⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うおそれがあるものを示しています。</p> <p>⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるもの、または物的損傷の発生が予測されるものを示しています。</p> <p>重要 製品の構造などの注意点を示しています。</p>	

はじめに

使用上の注意

注意

本書記載事項は、改良のため予告なしに変更する場合があります。

部品交換を行う場合は、必ず「BARONESS 純正部品」または「弊社指定部品」を使用してください。

純正部品以外の部品を使用して生じた不具合については責任を負いかねます。

この製品を使用する前に下記の取扱説明書を必ずお読みいただき、内容を十分にご理解ください。

- ・ バロネス製品の取扱説明書

使用目的

この製品は、バロネスグリーンモア (LM18/56/66/101 シリーズ) の運搬を目的とした機械です。

この目的以外で使用したり、機械の改造をしないでください。

この製品をその他の目的で使用したり、改造すると大変危険であり、機械を損傷する原因にもなります。

また、この製品は一般道路は走行できません。

安全	Page 1-1
安全上の注意事項	Page 1-2
廃棄	Page 2-1
リサイクルおよび廃棄処分	Page 2-2
製品概要	Page 3-1
仕様	Page 3-2
各部の名称	Page 3-2
規制ラベル	Page 3-3
警告ラベルと指示ラベル	Page 3-4
取り扱い説明	Page 4-1
使用前の準備	Page 4-2
点検	Page 4-7
締め付けトルク	Page 4-9
使用前の調整	Page 4-12
操作方法	Page 4-15
移動	Page 4-16
積み降ろし	Page 4-16
けん引	Page 4-18
運搬	Page 4-18
保管	Page 4-18
メンテナンス	Page 5-1
メンテナンス上の注意	Page 5-2
メンテナンススケジュール	Page 5-3
注油	Page 5-4
メンテナンスの方法	Page 5-5

TR50

目次

安全上の注意事項	Page 1-2
トレーニング	Page 1-2
使用する前に	Page 1-2
運転・操作	Page 1-2
保守	Page 1-2
けん引	Page 1-2

誤使用や整備不良は負傷や死亡事故につながります。

⚠ 危険

この製品は、安全な取り扱いができるように設計されており、工場出荷時には十分な試運転や検査を重ねた上で出荷しております。事故防止のための安全装置は装備しておりますが、これらは適切な操作、取り扱い、および日常の管理方法が大きく影響します。この製品を適切に使用または管理しない場合、人身事故につながるおそれがあります。以下の安全指示に従い、安全な作業を行ってください。

安全上の注意事項

トレーニング

1. 本書や関連する機器の説明書をよくお読みください。
各部の操作方法や警告ラベル、機械の正しい使用方法に十分慣れておきましょう。
2. オペレーター、整備士が本書で使用している言語が読めない場合には、オーナーの責任において、本書の内容を十分に説明してください。
3. すべてのオペレーター、整備士に適切なトレーニングを行ってください。
トレーニングはオーナーの責任です。
4. 正しい運転知識の無い方には機械を使用させないでください。
5. オーナーやオペレーターは自分自身や他者に対する事故、あるいは器物損壊に対する責任があり、それらを防ぐことができます。
6. 他者に対する事故や器物損壊などについてはオーナー、オペレーター、整備士が責任を負うことに留意してください。
7. 本書には、必要に応じて追加の安全情報が記載されています。
8. 通常の操作位置から機械の左右を決めています。

使用する前に

1. 作業場所を良く観察し、安全かつ適切に作業するには、どのようなアクセサリーやアタッチメントが必要かを判断してください。
メーカーが認めた以外のアクセサリーやアタッチメントを使用しないでください。
2. 機械が使われる区域を点検し、小石、玩具、および針金のような、機械がはね飛ばす可能性のあるすべての物体を取り除いてください。

運転・操作

1. 機械をトラックやトレーラーに積載する場合は、十分注意してください。
積み降ろしは平らな安全な場所で、トラックやトレーラーの駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止し、輪止めをして行ってください。
強度が十分あるロープなどで機械を固定してください。
あゆみ板を使用する場合は、幅、長さ、強度が十分あり、スリップしないものを選んでください。

保守

1. 絶対に訓練を受けていない人に機械を整備させないでください。
2. 修理・調整・清掃作業の前には以下を行ってください。
[1] 平らな場所で機械を停止する。
3. 調整、整備などに必要な工具類は適切な管理をし、目的に合った工具を正しく使用してください。
4. すべての部品が良好な状態にあるか点検を怠らないでください。
消耗したり破損した部品やラベルは安全のため早期に交換してください。
5. 常に機械全体の安全を心掛け、ナットやボルト、ねじ類が十分締まっているかを確認してください。
6. 部品を取り外すときなど、スプリングや油圧などの圧力が一気に解放される場合がありますので、注意してください。

けん引

1. 重量制限と使用傾斜角度については、けん引車両と機械の数値が異なる場合があります。
小さい方の数値に準じてください。

リサイクルおよび廃棄処分Page 2-2

リサイクルについて Page 2-2

廃棄処分についてPage 2-2

機
密

リサイクルおよび廃棄処分**リサイクルについて**

バッテリーなどは環境保護および資源の有効活用のためにリサイクルされることを推奨します。
また、地域によっては法律により義務付けられています。

廃棄処分について

整備、修理などの作業で出た廃棄物については、地域の法律に従って適切に処分してください。
(例：廃油、不凍液、ゴム製品、配線など)

仕様Page 3-2

 仕様表Page 3-2

各部の名称Page 3-2

規制ラベルPage 3-3

 規制ラベル貼付位置Page 3-3

 規制ラベルの説明Page 3-3

警告ラベルと指示ラベルPage 3-4

 警告ラベルと指示ラベルについてPage 3-4

 警告ラベル・指示ラベル貼付位置Page 3-4

 警告ラベル・指示ラベルの説明Page 3-4

製品概要

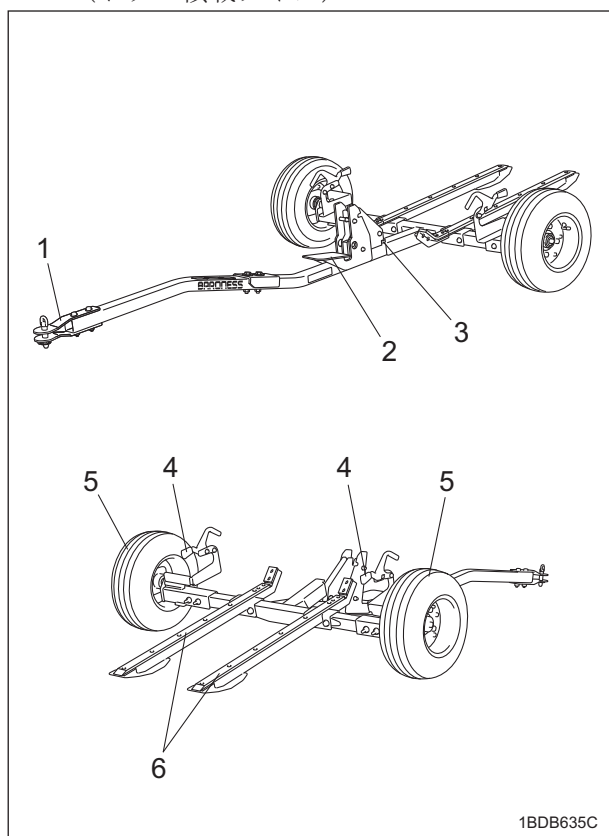
仕様

仕様表

型式	TR50				
仕様（積載方法）	ドラム積載タイプ			移動車輪積載タイプ	
寸法	全長	266 cm	104.72 in	273 cm	107.48 in
	全幅	18 インチモア	138 cm	54.33 in	←
		22 インチモア	147 cm	57.87 in	←
		26 インチモア	157 cm	61.81 in	←
全高	タイヤ	41 cm	16.14 in	←	
質量	58 kg	127.87 lb	69 kg	152.12 lb	
使用最大傾斜角度	15 度			←	
タイヤサイズ	16 x 6.50-8			←	
タイヤ空気圧	200 kPa (2.0 kgf/cm ²)	29.01 psi	←		
適用けん引車両	けん引可能重量	200 kg 以上	440.92 lb 以上	←	

各部の名称

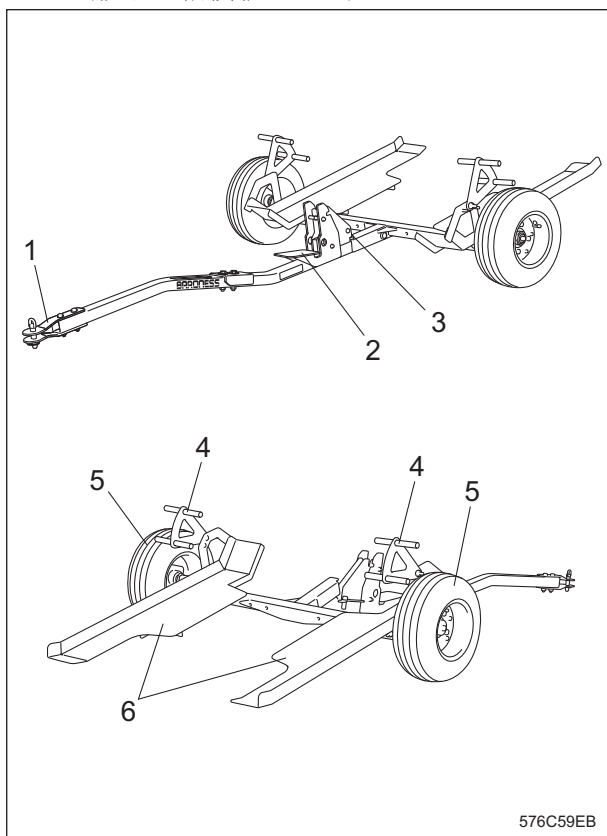
TR50（ドラム積載タイプ）



各部の名称_001

1	ヒッチ
2	ペダル
3	アックスロックレバー
4	ドラム軸ロックレバー
5	タイヤ
6	傾斜台

TR50 (移動車輪積載タイプ)



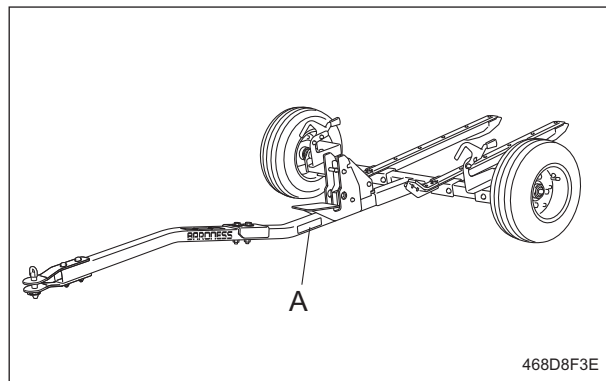
各部の名称_002

1	ヒッチ
2	ペダル
3	アクスロックレバー
4	移動車輪ロックレバー
5	タイヤ
6	傾斜台

規制ラベル

規制ラベル貼付位置

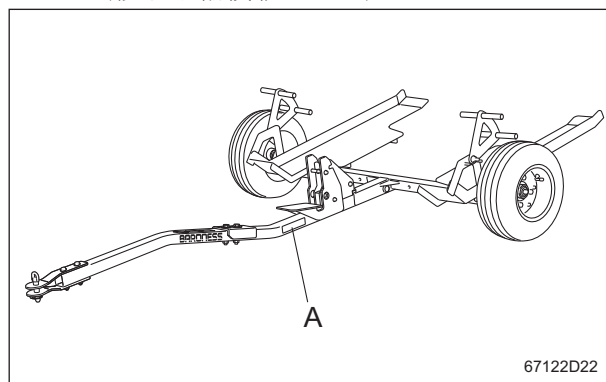
TR50 (ドラム積載タイプ)



規制ラベル貼付位置_001

A	機番プレート
---	--------

TR50 (移動車輪積載タイプ)



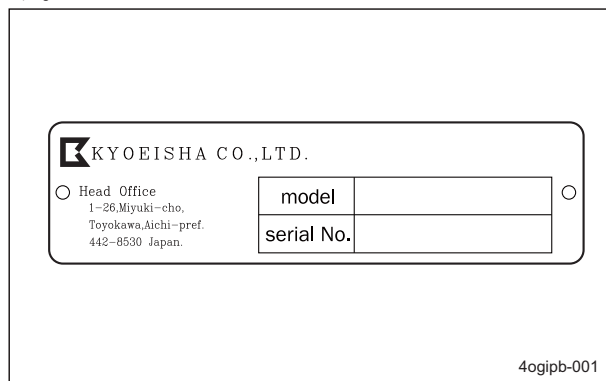
規制ラベル貼付位置_002

A	機番プレート
---	--------

規制ラベルの説明

機番プレート

機番プレートは、型式と機番が記載されています。



機番プレート_001

製品概要

警告ラベルと指示ラベル

警告ラベルと指示ラベルについて

重要

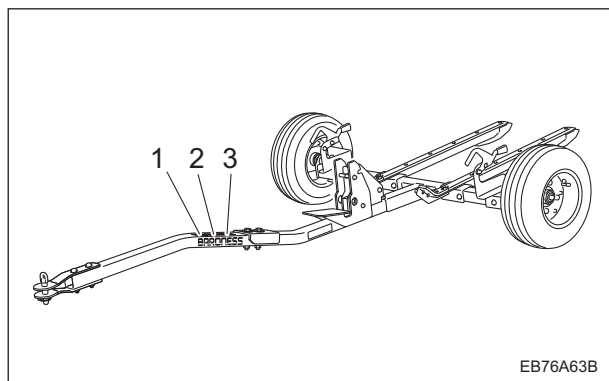
この製品には、警告ラベルと指示ラベルが貼り付けられています。

ラベルはきれいに保ち、損傷や汚れ、はがれがあった場合は、新しいものと交換してください。

交換するラベルの部品番号は、パーツカタログに記載されております。

販売代理店または弊社に注文してください。

警告ラベル・指示ラベル貼付位置



EB76A63B

警告ラベル・指示ラベル貼付位置_001

1	取扱説明書熟読ラベル
2	傾斜地注意ラベル
3	乗車禁止ラベル

警告ラベル・指示ラベルの説明

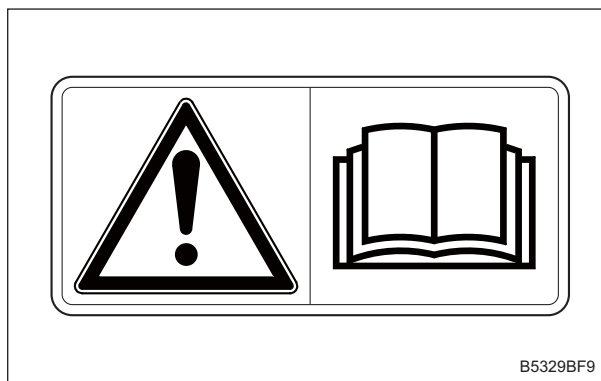
取扱説明書熟読ラベル

K4205002160

取扱説明書熟読ラベル



取扱説明書をお読みください。



B5329BF9

取扱説明書熟読ラベル_001

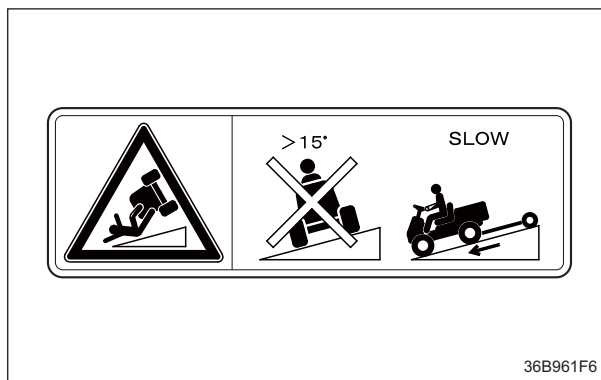
傾斜地注意ラベル

K4205002170

傾斜地注意ラベル



転倒-15度以上の傾斜の斜面での移動は転倒のおそれがありますので禁止します。
斜面を下るときは、低速で走行してください。



36B961F6

傾斜地注意ラベル_001

乗車禁止ラベル

K4205002180

乗車禁止ラベル



注意

人を乗せて走行すると人が転落してケガをするおそれがありますので禁止します。
パノネス歩行型リールモア（LM18/56/66/101シリーズ）以外を乗せて運搬しないでください。



乗車禁止ラベル_001

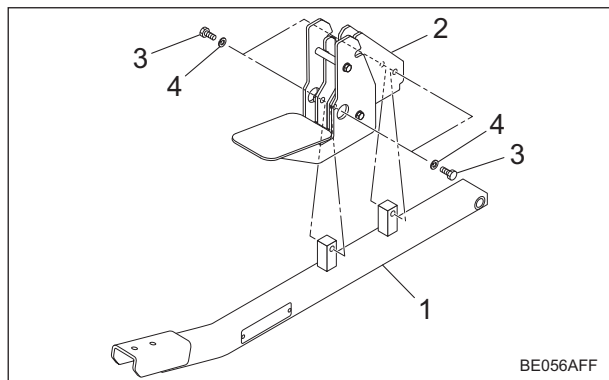
使用前の準備	Page 4-2	運搬方法	Page 4-18
けん引部の組み立て	Page 4-2	保管	Page 4-18
アクスル部と傾斜台部の接続	Page 4-2	長期保管について	Page 4-18
けん引部とアクスル部の接続	Page 4-3		
グリーンモア固定金具の取り付け	Page 4-4		
モアトレーラーの連結時の注意	Page 4-6		
モアトレーラーの連結方法	Page 4-7		
点検	Page 4-7		
タイヤ	Page 4-7		
ヒッチ	Page 4-7		
ステー	Page 4-8		
ペダルフック	Page 4-8		
締め付けトルク	Page 4-9		
標準締め付けトルク	Page 4-9		
重要締め付けトルク	Page 4-11		
使用前の調整	Page 4-12		
トレッドの調整	Page 4-12		
トレーラー取付ヒッチの調整	Page 4-13		
ドラムストッパーの調整	Page 4-14		
操作方法	Page 4-15		
機械操作上の注意	Page 4-15		
機械を離れるときの注意	Page 4-15		
ペダル	Page 4-15		
アクスルロックレバー	Page 4-15		
ドラム軸ロックレバー	Page 4-16		
移動車輪ロックレバー	Page 4-16		
移動	Page 4-16		
移動操作	Page 4-16		
積み降ろし	Page 4-16		
グリーンモアの積載方法	Page 4-16		
グリーンモアの荷降ろし方法	Page 4-17		
けん引	Page 4-18		
けん引時の注意	Page 4-18		
けん引操作	Page 4-18		
運搬	Page 4-18		

取り扱い説明

使用前の準備

けん引部の組み立て

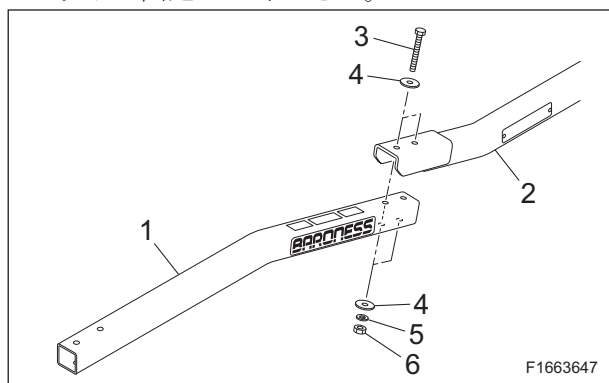
- けん引棒後にペダルフックを取り付けてください。



けん引部の組み立て_001

1	けん引棒後
2	ペダルフック
3	ボルト
4	S ワッシャー

- けん引棒前とけん引棒後の穴位置を合わせてください。
- けん引棒を合わせた穴にボルトを取り付け、ナットで固定してください。



けん引部の組み立て_002

1	けん引棒前
2	けん引棒後
3	ボルト
4	座金
5	S ワッシャー
6	ナット

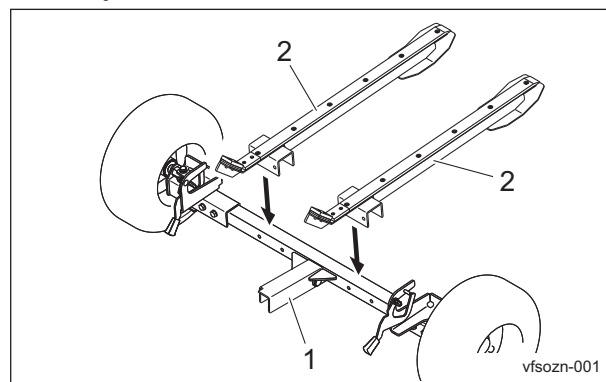
アクスル部と傾斜台部の接続

アクスル部と傾斜台部の接続（ドラム）

参考：

この機能は仕様により、無い場合があります。

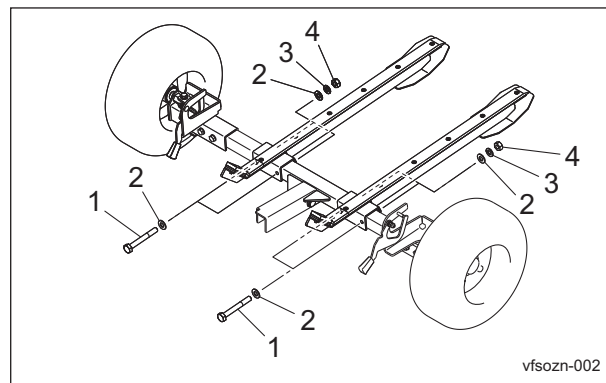
- アクスル部に傾斜台をはめ込んでください。
- アクスル部と傾斜台の穴位置を合わせてください。



アクスル部と傾斜台部の接続（ドラム）_001

1	アクスル部
2	傾斜台

- ボルトを取り付け、アクスル部と傾斜台を固定してください。



アクスル部と傾斜台部の接続（ドラム）_002

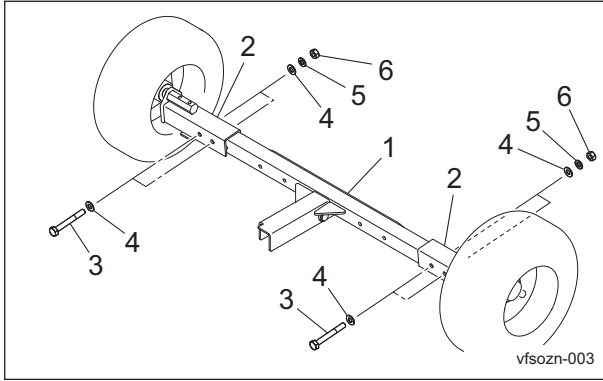
1	ボルト
2	ワッシャー
3	S ワッシャー
4	ナット

アクスル部と傾斜台部の接続（移動車輪）

参考：

この機能は仕様により、無い場合があります。

1. アクスル部とタイヤ部を固定しているボルトを取り外してください。



アクスル部と傾斜台部の接続（移動車輪）_001

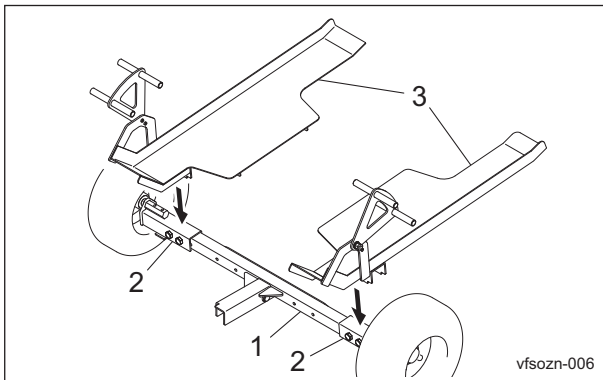
1	アクスル部
2	タイヤ部
3	ボルト
4	ワッシャー
5	Sワッシャー
6	ナット

2. トレッドを調整してください。

参考：

工場出荷時の設定は、22 インチモアの位置です。

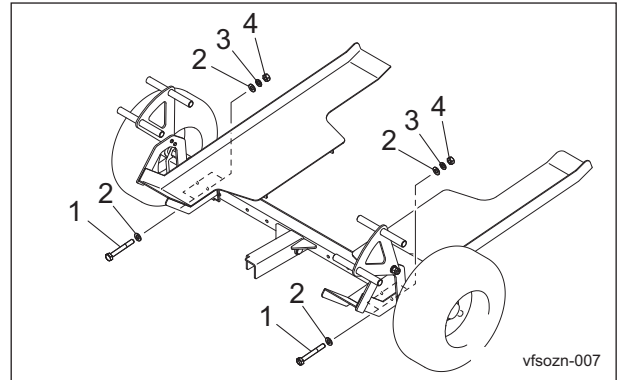
3. タイヤ部の上から傾斜台をはめ込んでください。
4. アクスル部、タイヤ部、傾斜台の穴位置を合わせてください。



アクスル部と傾斜台部の接続（移動車輪）_002

1	アクスル部
2	タイヤ部
3	傾斜台

5. 手順 1. で取り外したボルトを取り付け、傾斜台、アクスル部、タイヤ部を固定してください。

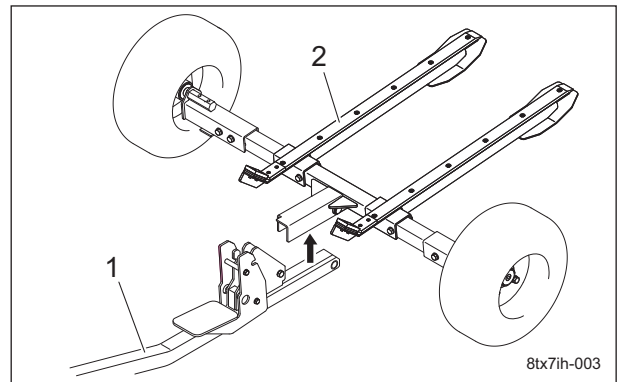


アクスル部と傾斜台部の接続（移動車輪）_003

1	ボルト
2	ワッシャー
3	Sワッシャー
4	ナット

けん引部とアクスル部の接続

1. アクスル部にけん引部をはめ込んでください。
2. アクスル部の穴位置とけん引部の穴位置を合わせてください。



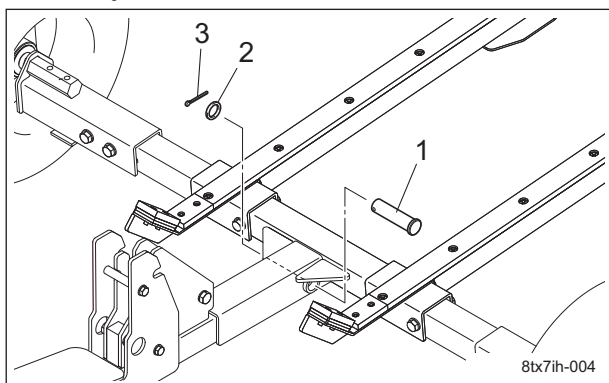
けん引部とアクスル部の接続_001

1	けん引部
2	アクスル部

3. ピンにグリースを塗布し、アクスル部とけん引部の合わせた穴にピンを取り付けてください。
4. ワッシャーを取り付けてください。

取り扱い説明

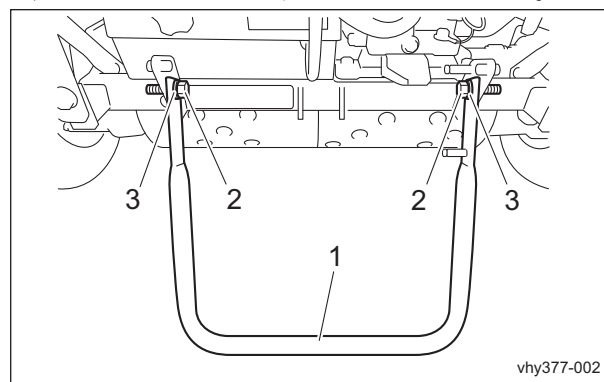
5. 割ピンをピンの穴に差し込んで取り付けてください。



けん引部とアクスル部の接続_002

1	ピン
2	ワッシャー
3	割ピン

2. 長い支点ボルト B を差し込んでください。



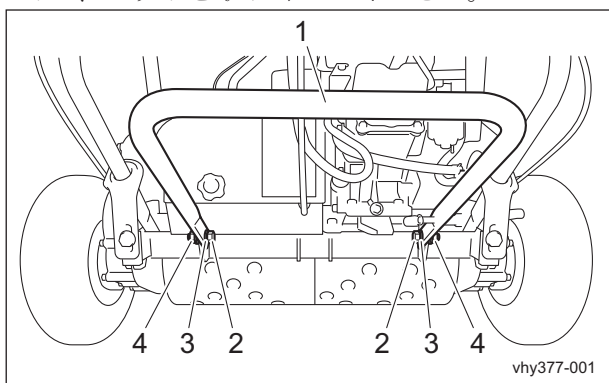
グリーンモア固定金具の取り付け_002

1	スタンド
2	支点ボルト B
3	ワッシャー

グリーンモア固定金具の取り付け

この機械に付属されているグリーンモアに取り付ける部品については、この機械のパーツカタログを参照してください。

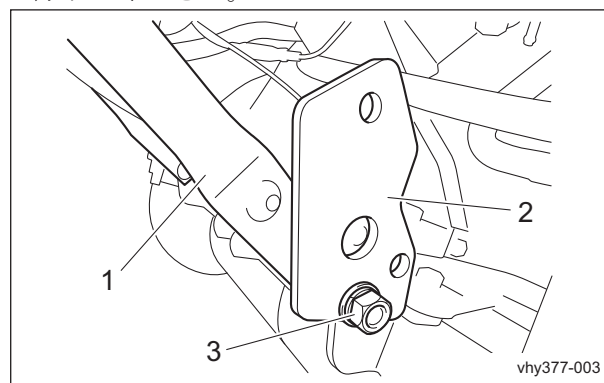
1. 積載するグリーンモアのスタンドの支点ボルト A、ナットを取り外してください。



グリーンモア固定金具の取り付け_001

1	スタンド
2	支点ボルト A
3	ワッシャー
4	ナット

3. 右側の支点ボルト B、ナットで側板を仮に取り付けてください。



グリーンモア固定金具の取り付け_003

1	スタンド
2	側板
3	ナット

取り扱い説明

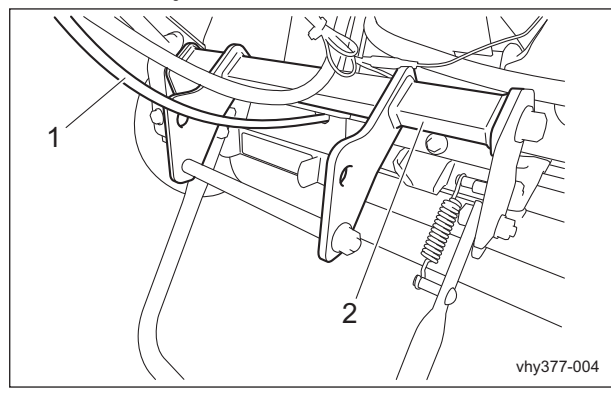
取り扱い説明

重要

グリーンモアの種類によって、クラッチワイヤーを通す位置が異なります。クラッチワイヤーを通す位置に注意してください。

LM101

クラッチワイヤーは、固定金具の下を通してください。

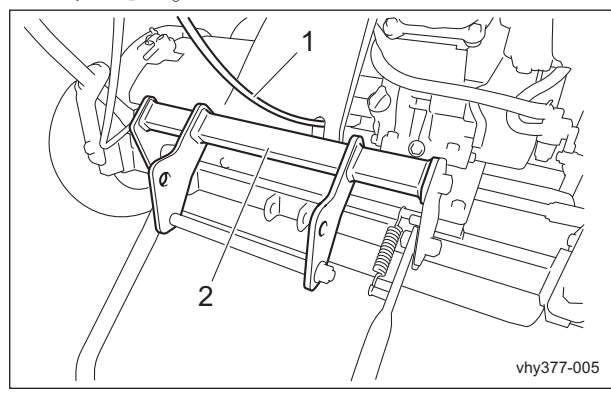


グリーンモア固定金具の取り付け_004

1	クラッチワイヤー
2	固定金具

LM18/56/66 シリーズ

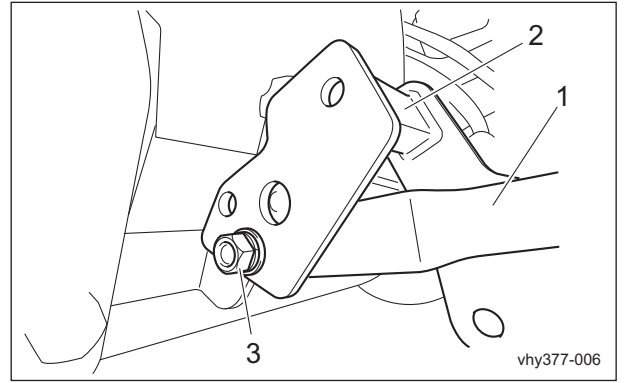
クラッチワイヤーは、固定金具の上を通してください。



グリーンモア固定金具の取り付け_005

1	クラッチワイヤー
2	固定金具

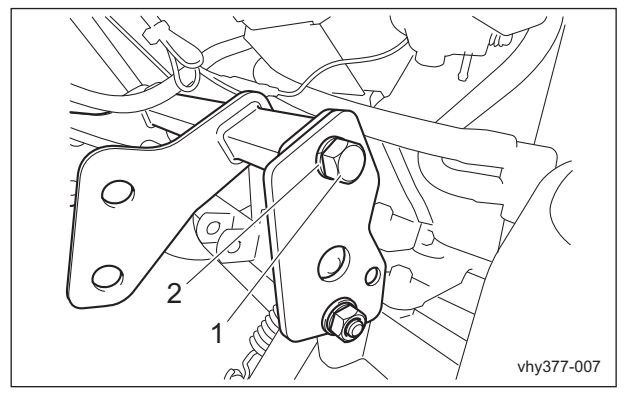
4. 左側の支点ボルトB、ナットで固定金具を仮に取り付けてください。



グリーンモア固定金具の取り付け_006

1	スタンド
2	固定金具
3	ナット

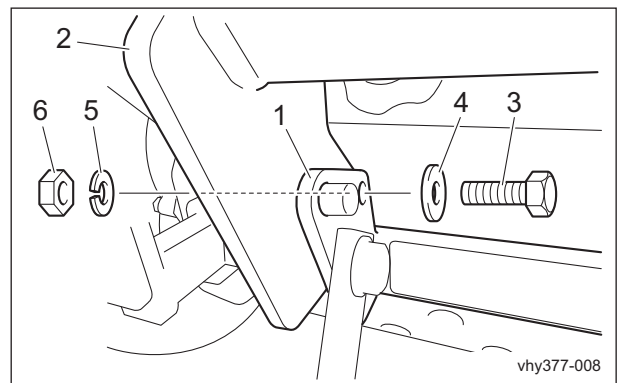
5. 右側の側板と固定金具をボルトで固定してください。



グリーンモア固定金具の取り付け_007

1	ボルト
2	Sワッシャー

6. スタンド取付板と固定金具の穴位置を合わせ、ボルト、ナットで固定してください。



グリーンモア固定金具の取り付け_008

取り扱い説明

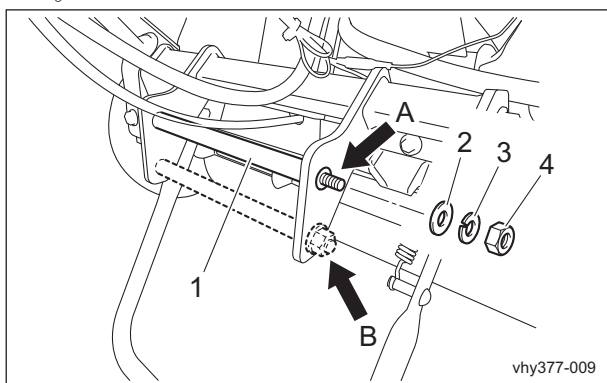
1	スタンド取付板
2	固定金具
3	ボルト
4	ワッシャー
5	S ワッシャー
6	ナット

7. 側板と固定金具を仮に取り付けているすべてのボルト、ナットを締め付けてください。

重要

使用するモアトレーラーのタイプによって、スタンドステーを取り付ける位置が異なります。適正な位置に取り付けてください。

8. スタンドステーをナットで取り付けてください。



グリーンモア固定金具の取り付け_009

1	スタンドステー
2	ワッシャー
3	S ワッシャー
4	ナット
A	スタンドステー位置 (ドラム積載タイプ)
B	スタンドステー位置 (移動車輪積載タイプ)

モアトレーラーの連結時の注意

⚠ 注意

連結および切り離し作業は必ず平坦な場所で行ってください。

重要

トレーラーとグリーンモアの合計重量は約 200 kg (440.92 lb) です。この重量以上をけん引できる能力がある車両をご用意ください。

重要

付属のピン (φ20) が取り付けられる車両をご用意ください。付属のピン以外を使用すると連結部が破損するおそれがあります。

重要

けん引車両のモアトレーラーとの連結部に十分な強度があるか確認してください。

モアトレーラーの連結方法

警告

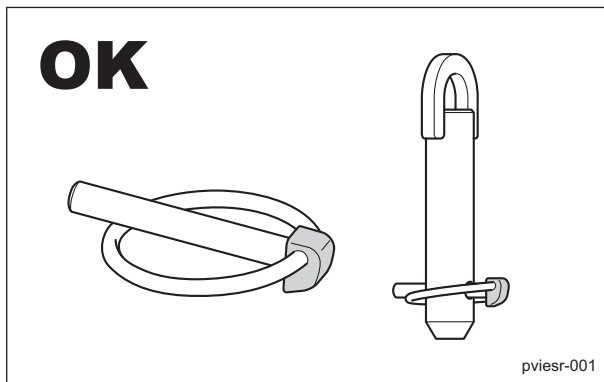
移動中にピンが外れないようにクリップピンを必ず取り付けてください。

重要

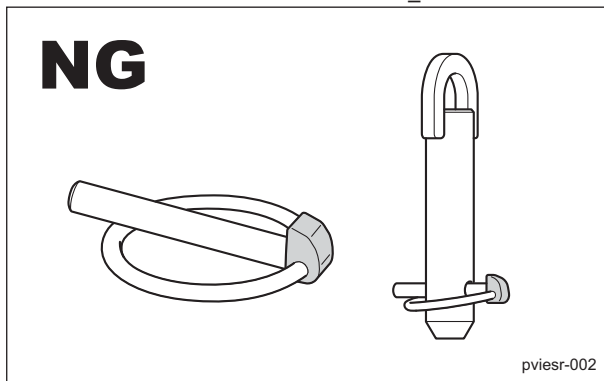
けん引車両にモアトレーラーを連結したとき、けん引棒が地面と平行になるようにトレーラー取付ヒッチの調整をしてください。

重要

クリップピンには向きがあります。取り付けの向きを間違えるとクリップピンが外れるおそれがあります。

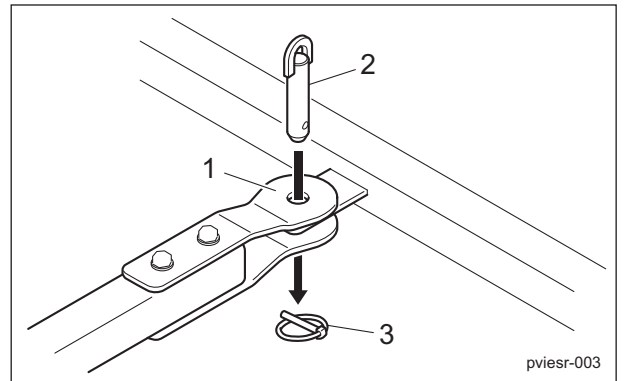


モアトレーラーの連結方法_001



モアトレーラーの連結方法_002

1. 付属しているピンを連結部に取り付けてください。
2. クリップピンの向きを確認し、外れないように取り付けてください。



モアトレーラーの連結方法_003

1	連結部
2	ピン
3	クリップピン

点検

機械の性能を引き出し、長くご使用いただくために、メンテナンススケジュールに従って点検をしてください。

タイヤ

タイヤの点検

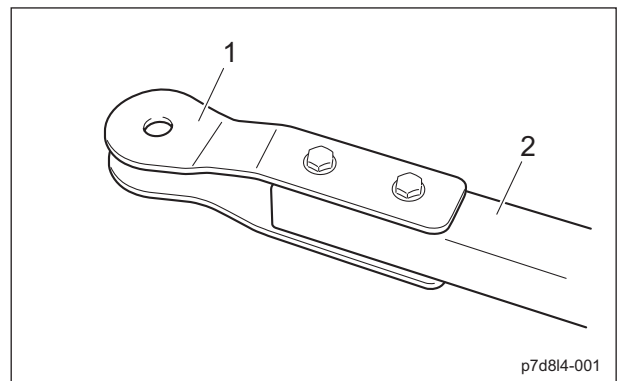
1. タイヤの空気圧を確認してください。
2. 亀裂、損傷、異常磨耗が無いか確認してください。

タイヤサイズ	空気圧
16 x 6.50-8	200 kPa (2.0 kgf/cm ²)

ヒッチ

ヒッチの点検

1. ヒッチに磨耗や劣化が無いか確認してください。
2. ヒッチに破損が無いか確認してください。
3. ヒッチに変形が無いか確認してください。



ヒッチの点検_001

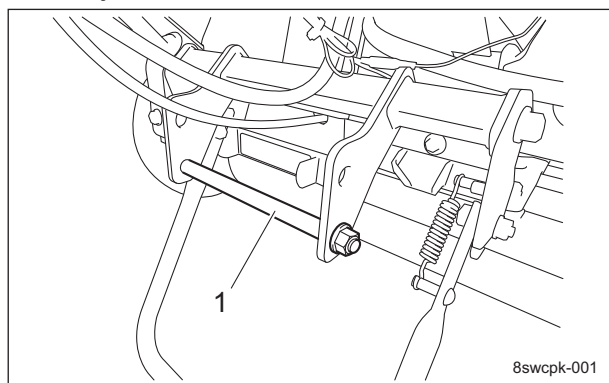
取り扱い説明

1	ヒッチ
2	けん引棒

ステー

スタンドステーの点検

1. スタンドステーに磨耗や劣化が無いか確認してください。
2. スタンドステーに破損が無いか確認してください。
3. スタンドステーに変形が無いか確認してください。



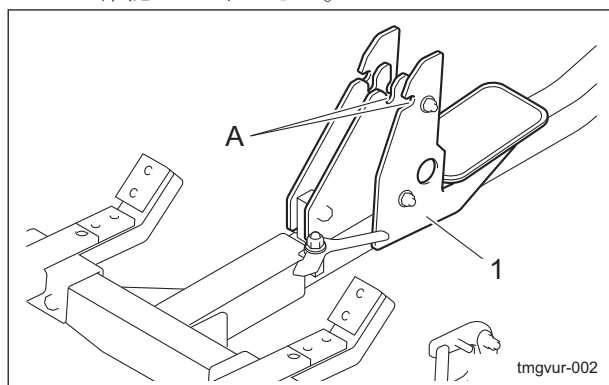
スタンドステーの点検_001

1	スタンドステー
---	---------

ペダルフック

ペダルフックの点検

1. ペダルおよびフレームのフック部に磨耗や劣化が無いか確認してください。
2. ペダルおよびフレームのフック部に破損が無いか確認してください。
3. ペダルおよびフレームのフック部に変形が無いか確認してください。



ペダルフックの点検_001

1	ペダル
A	フック部

締め付けトルク

重要

締め付けトルク一覧を参照してください。
異常な締め付け、オーバートルクでの締め付けなどで生じた不具合については、弊社では責任を負いかねます。

標準締め付けトルク

ボルト、ねじ類



重要

各部には、ボルト止めが多く使われております。
使用初期はボルト、ナットなどの緩みが出る場合がありますので、必ず増し締めを行ってください。

特別指示の無いボルト、ナットは、適切な工具により適正な締め付けトルクで締め付けてください。
締め付けが強すぎると「ねじ」は緩んだり、破損したりします。
締め付け強さは、ねじの種類、強度、ねじ面や座面の摩擦などで決めております。
一覧表は、亜鉛メッキまたはパーカー処理したボルトを対象としております。
めねじの強度が弱い場合は適用できません。
さびていたり、砂などが付着している「ねじ」は、使用しないでください。
所定の締め付けトルクを与えても締め付け不足になります。
ねじ面の摩擦が大きくなり、締め付けトルクのほとんどを摩擦損失し、締め付ける力になりません。
「ねじ」が水や油で濡れている場合は、通常締め付けトルクで締めないでください。
ねじが濡れるとトルク係数が小さくなり、締め過ぎになります。
締め過ぎると、ねじが伸びて緩んだり、破損することがあります。
一度、大きな負荷がかかったボルトは、使用しないでください。
インパクトレンチで締めるときは、熟練が必要です。
できるだけ安定した締め付け作業ができるように練習してください。

取り扱い説明

呼び径	一般ボルト		
	強度区分 4.8		
	 tib3yb-001		
	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	3 - 5	30.59 - 50.99	26.55 - 44.26
M6	7 - 9	71.38 - 91.77	61.96 - 79.66
M8	14 - 19	142.76 - 193.74	123.91 - 168.17
M10	29 - 38	295.71 - 387.49	256.68 - 336.34
M12	52 - 67	530.24 - 683.20	460.25 - 593.02
M14	70 - 94	713.79 - 958.52	619.57 - 831.99
M16	88 - 112	897.34 - 1142.06	778.89 - 991.31
M18	116 - 144	1,182.85 - 1,468.37	1,026.72 - 1,274.54
M20	147 - 183	1,498.96 - 1,866.05	1,301.10 - 1,619.73
M22	295	3,008.12	2,611.05
M24	370	3,772.89	3,274.87
M27	550	5,608.35	4,868.05
M30	740	7,545.78	6,549.74

呼び径	調質ボルト					
	強度区分 8.8			強度区分 10.9		
	 tib3yb-002			 tib3yb-003		
	N-m	kgf-cm	lb-in	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	5 - 7	50.99 - 71.38	44.26 - 61.96	7 - 10	71.38 - 101.97	61.96 - 88.51
M6	8 - 11	81.58 - 112.17	70.81 - 97.36	14 - 18	142.76 - 183.55	123.91 - 159.32
M8	23 - 29	234.53 - 295.71	203.57 - 256.68	28 - 38	285.52 - 387.49	247.83 - 336.34
M10	45 - 57	458.87 - 581.23	398.30 - 504.51	58 - 76	591.43 - 774.97	513.36 - 672.68
M12	67 - 85	683.20 - 866.75	593.02 - 752.34	104 - 134	1,060.49 - 1,366.40	920.50 - 1186.03
M14	106 - 134	1,080.88 - 1,366.40	938.21 - 1,186.03	140 - 188	1,427.58 - 1,917.04	1,239.14 - 1,663.99
M16	152 - 188	1,549.94 - 1,917.04	1,345.35 - 1,663.99	210 - 260	2,141.37 - 2,651.22	1,858.71 - 2,301.26
M18	200 - 240	2,039.40 - 2,447.28	1,770.20 - 2,124.24	280 - 340	2,855.16 - 3,466.98	2,478.28 - 3,009.34
M20	245 - 295	2,498.27 - 3,008.12	2,168.50 - 2,611.05	370 - 450	3,772.89 - 4,588.65	3,274.87 - 3,982.95
M22	—	—	—	530	5,404.41	4,691.03
M24	—	—	—	670	6,831.99	5,930.17
M27	—	—	—	1,000	10,197.00	8,851.00
M30	—	—	—	1,340	14,628.78	11,860.34

参考：

「細目ねじ」についても、同じ数値とする。

重要締め付けトルク

機種別締め付けトルク

TR50

次のボルト、ナットは下記のトルクで締め付けてください。

ねじ緩み止め剤は、ネジロック中強度（スリーボンド 1322 相当品 嫌気性封着剤）を塗布してください。

部位	コード番号	品名	締付トルク Nm			ねじ緩み 止め剤
			N-m	kgf-cm	lb-in	
車軸部	K0013100802	10 調質ボルト 80	58 - 76	591.43 - 774.97	513.36 - 672.68	-
傾斜台部	K0013100802	10 調質ボルト 80	58 - 76	591.43 - 774.97	513.36 - 672.68	-
車軸部および 傾斜台部	K0013100902	10 調質ボルト 90	58 - 76	591.43 - 774.97	513.36 - 672.68	-

取り扱い説明

使用前の調整

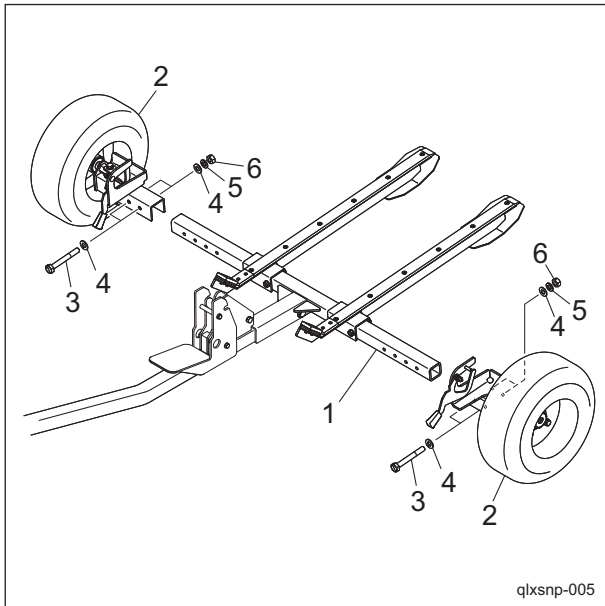
トレッドの調整

トレッドの調整（ドラム）

参考：

この機能は仕様により、無い場合があります。

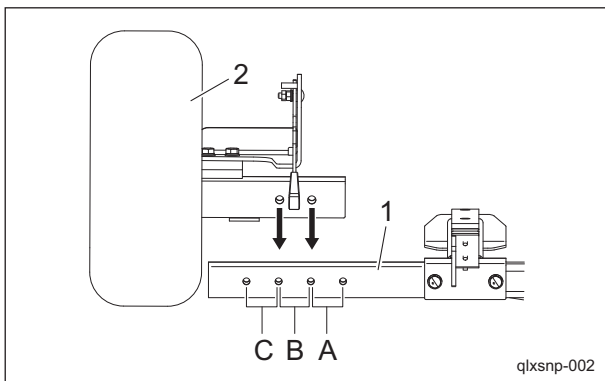
1. アクスル部とタイヤ部を固定しているボルトを取り外してください。



トレッドの調整（ドラム）_001

1	アクスル部
2	タイヤ部
3	ボルト
4	ワッシャー
5	Sワッシャー
6	ナット

2. 搭載するグリーンモアによって、車軸穴の取り付け位置が異なります。任意の位置にアクスル部とタイヤ部の穴位置を合わせてください。



トレッドの調整（ドラム）_002

1	アクスル部
2	タイヤ部
A	18 インチモア
B	22 インチモア
C	26 インチモア

3. 手順 1. で取り外したボルトを取り付け、アクスル部とタイヤ部を固定してください。
4. 反対側も同様の手順で調整してください。

参考：

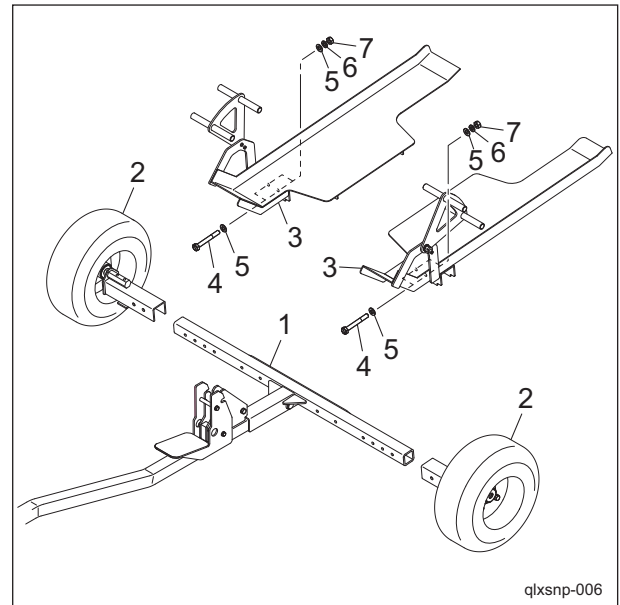
工場出荷時の設定は、22 インチモアの位置です。

トレッドの調整（移動車輪）

参考：

この機能は仕様により、無い場合があります。

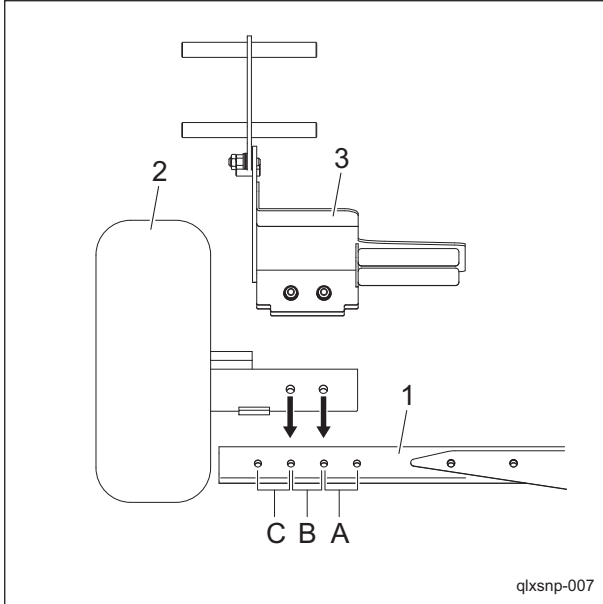
1. アクスル部とタイヤ部、傾斜台部を固定しているボルトを取り外してください。



トレッドの調整（移動車輪）_001

1	アクスル部
2	タイヤ部
3	傾斜台部
4	ボルト
5	ワッシャー
6	Sワッシャー
7	ナット

2. 搭載するグリーンモアによって、車軸穴の取り付け位置が異なります。
 任意の位置にアクスル部とタイヤ部、傾斜台部の穴位置を合わせてください。



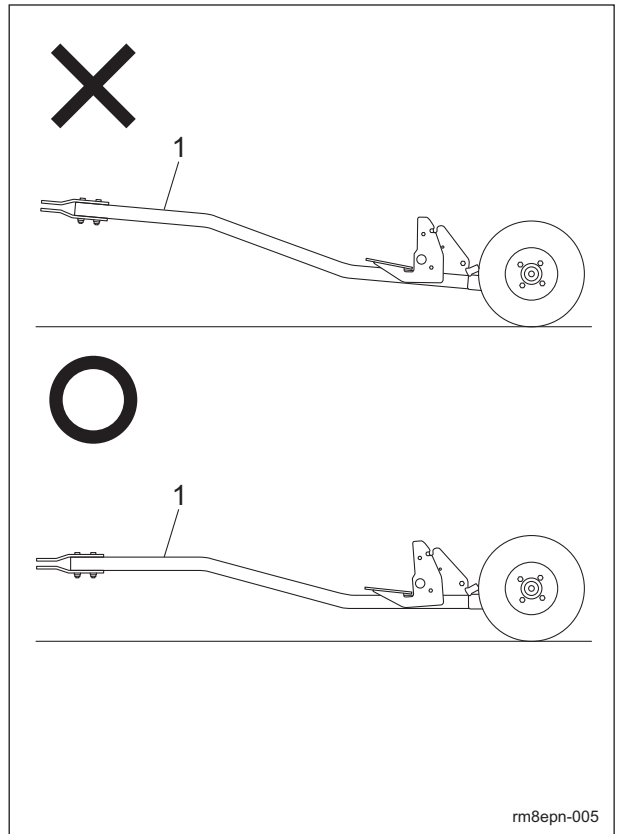
トレッドの調整 (移動車輪)_002

1	アクスル部
2	タイヤ部
3	傾斜台部
A	18 インチモア
B	22 インチモア
C	26 インチモア

3. 手順 1. で取り外したボルトを取り付け、アクスル部とタイヤ部、傾斜台部を固定してください。
 4. 反対側も同様の手順で調整してください。

トレーラー取付ヒッチの調整

けん引車両にモアトレーラーを連結したとき、けん引棒が地面と平行でない場合は、トレーラー取付ヒッチの位置を調整します。

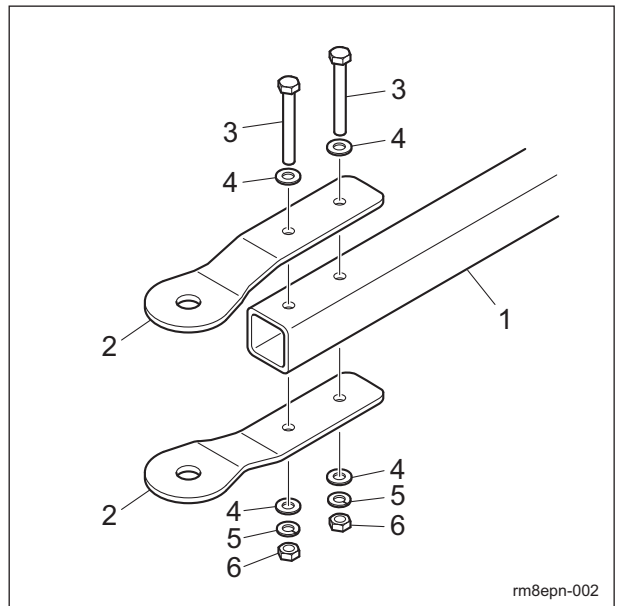


トレーラー取付ヒッチの調整_001

1	けん引棒
---	------

ヒッチは3段階に高さを調整できます。
 ヒッチを固定しているボルトを取り外し、ヒッチをけん引車両に合わせた設定で取り付けてください。

- 標準ヒッチ設定
 地面からトレーラー取付ヒッチまでの高さは、299 mm (11.77 in) です。



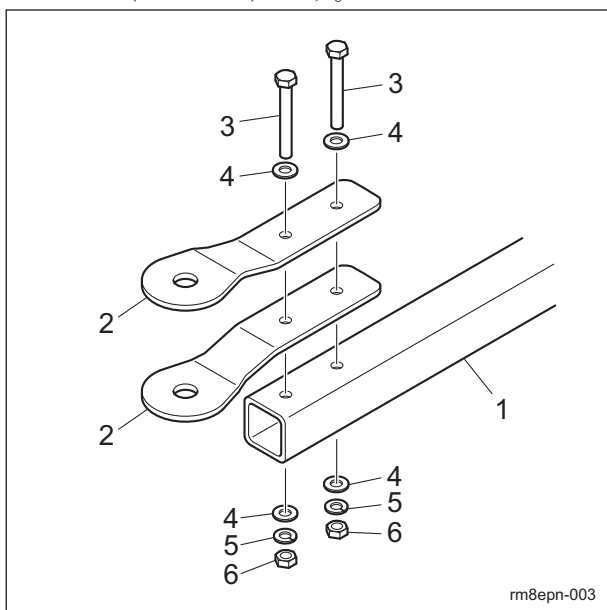
トレーラー取付ヒッチの調整_002

取り扱い説明

1	けん引棒
2	ヒッチ
3	ボルト
4	ワッシャー
5	Sワッシャー
6	ナット

・高ヒッチ設定

地面からトレーラー取付ヒッチまでの高さは、329 mm (12.95 in) です。

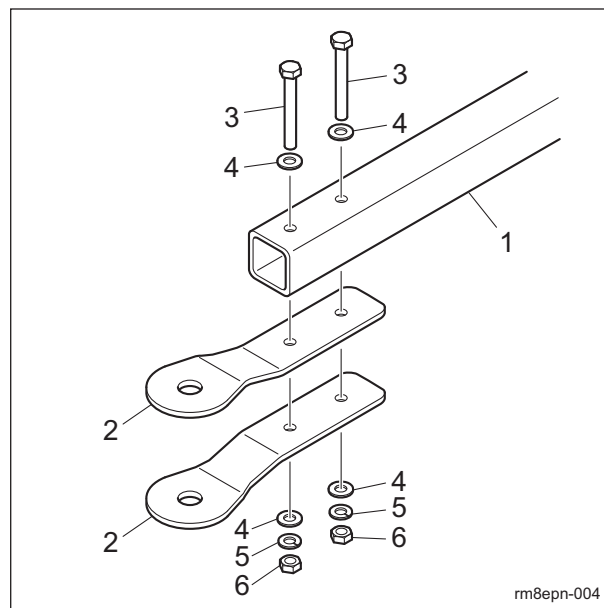


トレーラー取付ヒッチの調整_003

1	けん引棒
2	ヒッチ
3	ボルト
4	ワッシャー
5	Sワッシャー
6	ナット

・低ヒッチ設定

地面からトレーラー取付ヒッチまでの高さは、270 mm (10.63 in) です。



トレーラー取付ヒッチの調整_004

1	けん引棒
2	ヒッチ
3	ボルト
4	ワッシャー
5	Sワッシャー
6	ナット

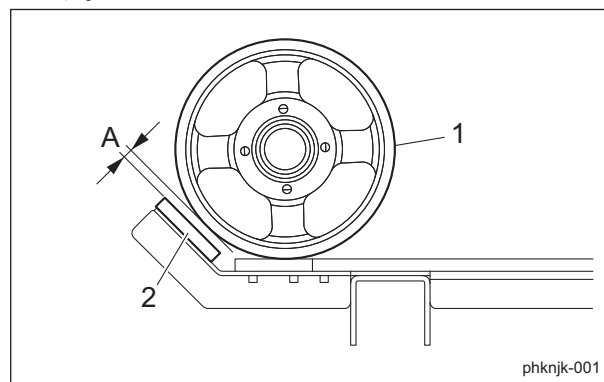
参考：

工場出荷時の設定は、標準ヒッチ設定です。

ドラムストッパーの調整

参考：

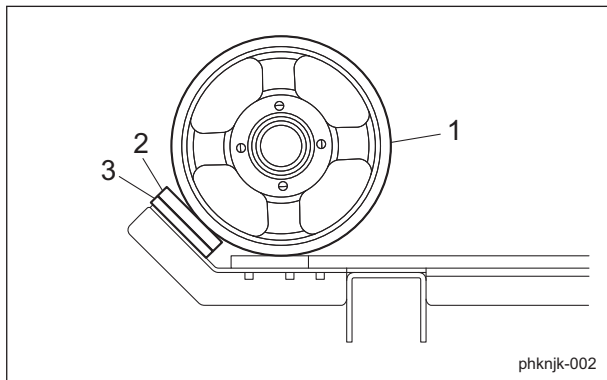
この機能は仕様により、無い場合があります。モアトレーラーにグリーンモアを積載したとき、ドラムとドラムストッパーの間に 4.5 mm (0.177 in) 以上のすき間ができる場合は、すき間を調整します。



ドラムストッパーの調整_001

1	ドラム
2	ドラムストッパー
A	すき間

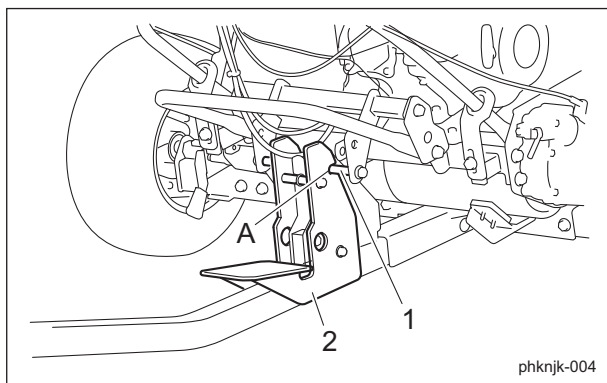
1. ドラムストッパーを固定しているねじを取り外し、スペーサーを追加してください。



ドラムストッパーの調整_002

1	ドラム
2	ドラムストッパー
3	スペーサー

2. スタンドステーがフック部で固定できることを確認してください。



ドラムストッパーの調整_003

1	スタンドステー
2	ペダル
A	フック部

操作方法

機械操作上の注意



注意

どのような場合にも、緊急停止ができる速さで運転してください。

機械を離れるときの注意



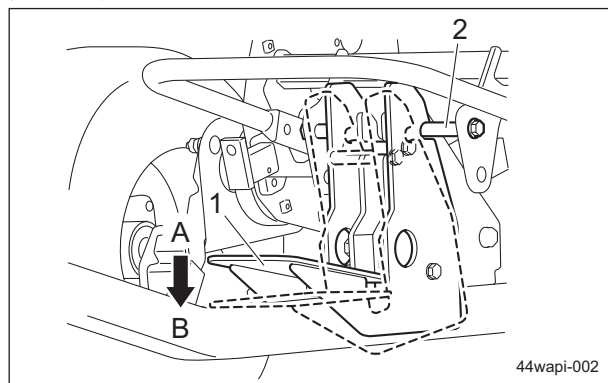
注意

車輪止めを使用し、固定してください。

ペダル

ペダルは、グリーンモアスタンドステーとモアトレーラーのペダルフックの連結を解除するときに使用します。

グリーンモアスタンドステーとモアトレーラーのペダルフックの連結を解除するときは、ペダルを踏んで解除位置にしてください。



ペダル_001

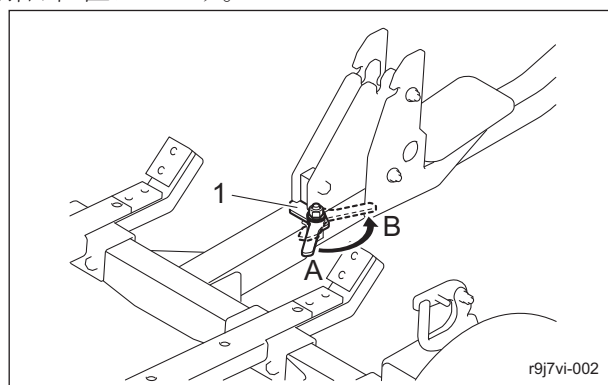
1	ペダル
2	スタンドステー
A	ロック
B	解除

アクスルロックレバー

アクスルロックレバーは、傾斜台の角度を固定するレバーです。

グリーンモアをモアトレーラーに積載し、けん引するときはロック位置にします。

グリーンモアをモアトレーラーから降ろすときは、解除位置にします。



アクスルロックレバー_001

1	アクスルロックレバー
A	ロック
B	解除

取り扱い説明

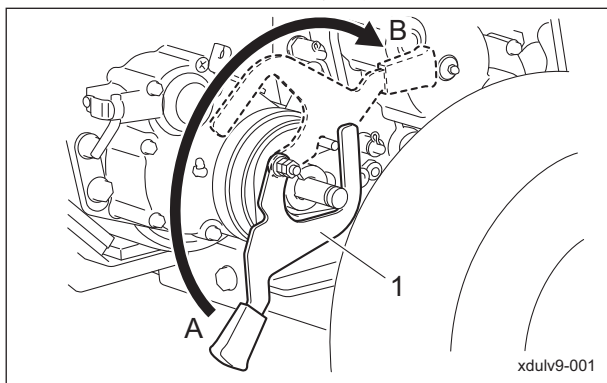
ドラム軸ロックレバー

参考：

この機能は仕様により、無い場合があります。
ドラム軸ロックレバーは、モアトレーラーからグリーンモアが落下するのを防止するためのものです。

グリーンモアをモアトレーラーに積載し、けん引するときは、ドラム軸ロックレバーをロック位置にします。

グリーンモアをモアトレーラーから降ろすときは、ドラム軸ロックレバーを解除位置にします。



ドラム軸ロックレバー_001

1	ドラム軸ロックレバー
A	ロック
B	解除

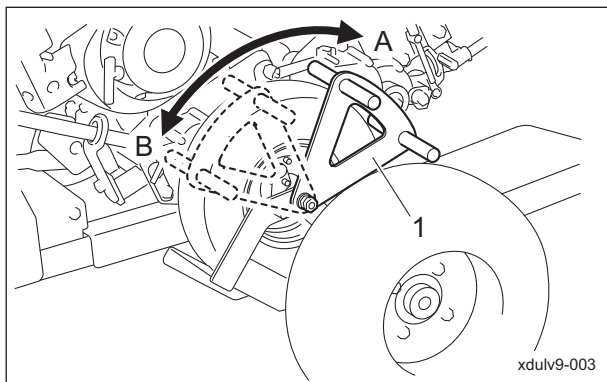
移動車輪ロックレバー

参考：

この機能は仕様により、無い場合があります。
移動車輪ロックレバーは、モアトレーラーからグリーンモアが落下するのを防止するためのものです。

グリーンモアをモアトレーラーに積載し、けん引するときは、移動車輪ロックレバーをロック位置にします。

グリーンモアをモアトレーラーから降ろすときは、移動車輪ロックレバーを解除位置にします。



移動車輪ロックレバー_001

1	移動車輪ロックレバー
A	ロック
B	解除

移動

移動操作

1. 傾斜台を持ち上げてください。
2. アクスルロックレバーでアクスルを固定してください。
3. けん引棒を持ち、傾斜台が地面に接触しないように移動させてください。

積み降ろし

グリーンモアの積載方法

⚠ 注意

積み降ろしは平らな安全な場所で、モアトレーラーに輪止めをして行ってください。

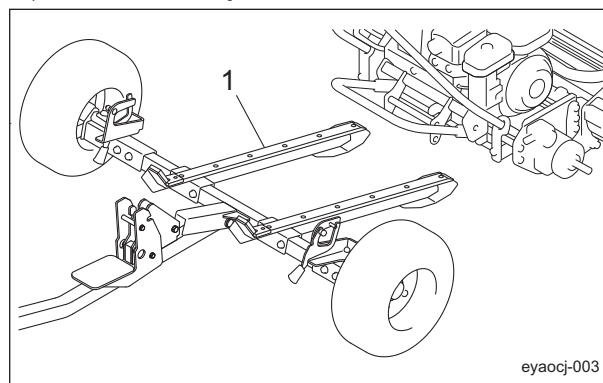
⚠ 注意

モアトレーラーに足を引っ掛けて転倒しないように注意してください。

⚠ 注意

傾斜台が跳ね上がるおそれがありますので、必ず機械の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。

1. アクスルロックレバーを解除位置にし、傾斜台を地面に接地させてください。
2. グリーンモアを傾斜台に対して後ろ向きに配置してください。

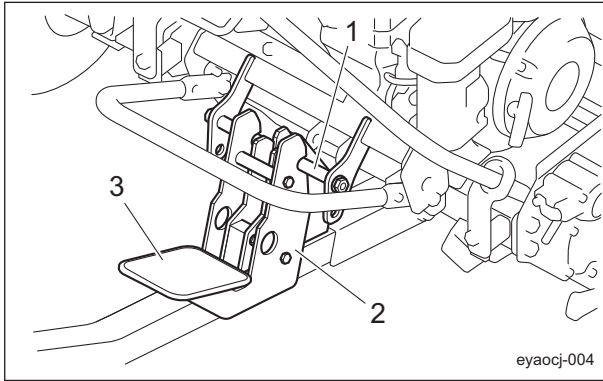


グリーンモアの積載方法_001

1	傾斜台
---	-----

3. グリーンモアを後進させ、傾斜台からモアトレーラーに載せてください。

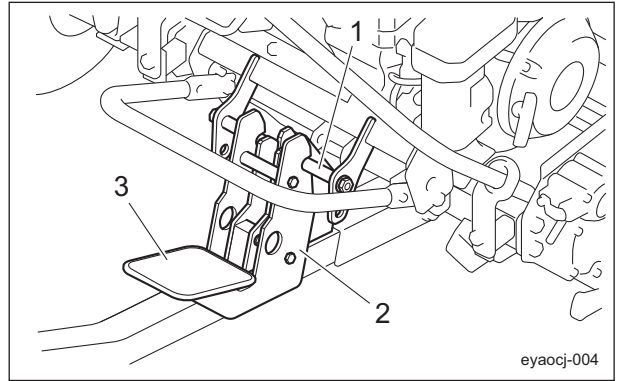
4. グリーンモアのスタンドステーをペダルフックにはめて固定してください。



グリーンモアの積載方法_002

1	スタンドステー
2	ペダルフック
3	ペダル

3. ペダルを踏み、グリーンモアのスタンドステーをペダルフックから外してください。



グリーンモアの荷降ろし方法_001

1	スタンドステー
2	ペダルフック
3	ペダル

5. アクスロックレバーをロック位置にしてください。
6. ドラム軸ロックレバーまたは移動車輪ロックレバーをロック位置にしてください。
7. グリーンモアの燃料コックを「閉」の位置にしてください。

4. 前ローラーを傾斜台に接地させ、傾斜台を地面に接地させてください。
5. グリーンモアを前進させ、モアトレーラーから降ろしてください。

グリーンモアの荷降ろし方法

⚠ 注意

積み降ろしは平らな安全な場所で、モアトレーラーに輪止めをして行ってください。

⚠ 注意

モアトレーラーに足を引っ掛けて転倒しないように注意してください。

⚠ 注意

機械の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。

⚠ 注意

グリーンモアを降ろす際は、急に手が引っ張られますので、十分注意してください。

1. ドラム軸ロックレバーまたは移動車輪ロックレバーを解除位置にしてください。
2. アクスロックレバーを解除位置にしてください。

取り扱い説明

けん引

けん引時の注意

警告

けん引時は、走行速度を 20 km/h 以下で走行してください。
悪路や段差は、ゆっくり走行してください。

警告

旋回は、低速で行ってください。
急旋回すると、けん引車両が転倒するおそれがあります。

注意

カーブを曲がる時は連結部でけん引車両とモアトレーラーが折れ曲がるため、大きな内輪差が発生します。
内輪差による巻き込みに注意してください。

注意

後進する際は必ず後方に人がいないことを確認してください。
トレーラーの動きをきちんと観察しながら低速で後進してください。

注意

傾斜地で後進しながら旋回するときは、トレーラーと接触し、けん引車両が転倒するおそれがありますので注意してください。

けん引操作

1. グリーンモアのスタンドステーがペダルフックに固定されているか確認してください。
2. ドラム軸ロックレバーまたは移動車輪ロックレバーがロック位置にあり、グリーンモアが落下しないことを確認してください。
3. アクスルロックレバーがロック位置にあり、傾斜台が地面に接地していないことを確認してください。
4. けん引車両とモアトレーラーがきちんと連結されているか確認してください。
5. けん引車両をゆっくりと発進させ、走行速度を守って走行してください。

運搬

運搬方法

トラックやトレーラーに積載して運搬する場合は、けん引車両との連結を外してから積載してください。

あゆみ板を使用する場合：

トラックやトレーラーに積載して運搬する場合は、けん引棒を持ち、引き上げて積み込み、押し降ろしてください。

パレットを使用する場合：

トラックやトレーラーに積載して運搬する場合は、パレットに載せて積み降ろしをしてください。

保管

長期保管について

1. 清掃
 - ・ 泥や草屑、油汚れなどをきれいに落としてください。
2. 注油
 - ・ 各注油箇所にはグリース注入、塗布と注油をしてください。
3. タイヤの空気圧
 - ・ 標準よりやや高めにし、湿気から守るために板の上に載せてください。
4. 格納
 - ・ 雨のかからない乾燥した場所で、カバーなどをかけてください。
 - ・ 傾斜台を地面に接地させてください。
 - ・ グリーンモアをモアトレーラーから降ろしてください。
 - ・ けん引車両から取り外す場合は、輪止めを使用してタイヤを固定してください。

メンテナンス上の注意	Page 5-2
メンテナンススケジュール	Page 5-3
調整値	Page 5-3
注油	Page 5-4
注油について	Page 5-4
注油位置	Page 5-4
メンテナンスの方法	Page 5-5
タイヤの脱着	Page 5-5
アクスルロックレバーの調整	Page 5-6
ドラム軸ロックレバーの調整	Page 5-6
移動車輪ロックレバーの調整	Page 5-6

メンテナンス

メンテナンス上の注意

警告

本書に記載する「メンテナンス」の章は、専門知識のある整備士が行うべきメンテナンスの項目について説明しています。
オーナーは、専門知識のある整備士がこの機械のメンテナンスを実施するように指導してください。

注意

実施するメンテナンスを熟知してから行ってください。

重要

メンテナンスを行う際に必要な工具は、目的にあったものを使用してください。

重要

常に安全に、最高の性能でお使い頂くために、交換部品やアクセサリは BARONESS 純正部品をお求めください。
純正部品以外の部品をご使用になった場合、製品保証を受けられなくなる場合がありますので、ご注意ください。

機械の性能を引き出し、長くご使用いただくために、メンテナンススケジュールに従ってメンテナンスをしてください。

メンテナンススケジュール

メンテナンススケジュールは、以下のとおりです。

○・・・点検、調整、補給、清掃

●・・・交換(初回)

△・・・交換

メンテナンス項目	作業前	必要に応じて	備考
タイヤの空気圧と状態の点検	○		
ヒッチの磨耗および損傷の点検	○		
ペダルフックの磨耗および損傷の点検	○		
スタンドステーの磨耗および損傷の点検	○		
各部の損傷の点検	○		
ボルト、ナットの締め付けの点検	○		
可動部の注油		○	
移動車輪ロックレバー操作力の調整 (移動車輪積載タイプ)		○	
ドラム軸ロックレバー操作力の調整 (ドラム積載タイプ)		○	
アクスルロックレバー操作力の調整		○	

・ 消耗品については、保証値ではありません。

調整値

アクスルロックレバーの操作力	15 - 30 N-m (153 - 306 kgf-cm)
ドラム軸ロックレバーの操作力	30 - 50 N-m (306 - 510 kgf-cm)
移動車輪ロックレバーの操作力	40 - 60 N-m (408 - 612 kgf-cm)

メンテナンス

注油

注油について

可動部が固着したり、破損したりする可能性がありますので、潤滑剤を塗布する必要があります。潤滑剤を使用する場所は、「注油位置」に記載されています。

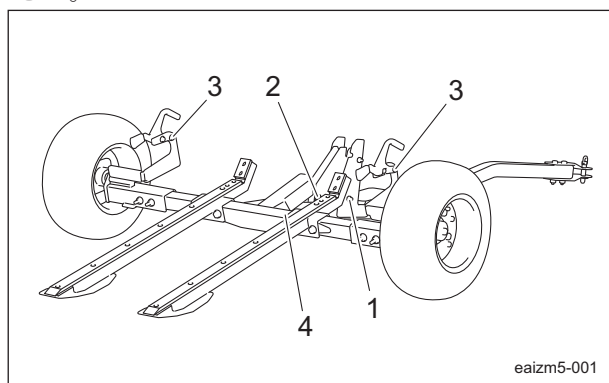
潤滑剤を塗布してください。

注油位置

注油位置（ドラム）

参考：

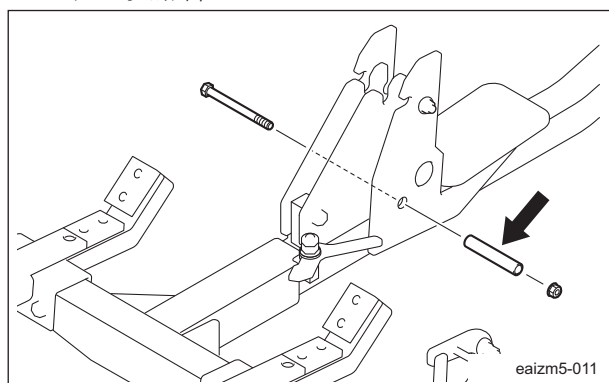
この機能は仕様により、無い場合があります。次の場所に必要に応じて潤滑剤を塗布してください。



注油位置（ドラム）_001

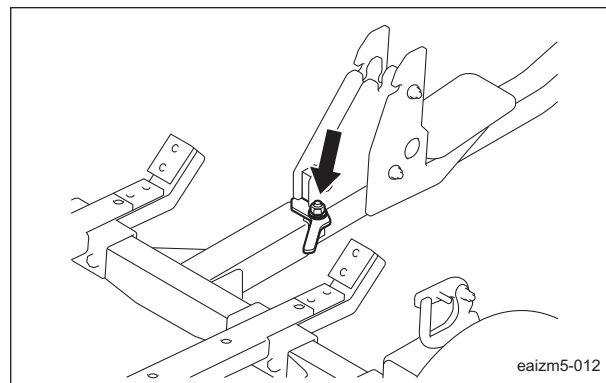
1	ペダル支点部	1
2	アクスルロックレバー	1
3	ドラム軸ロックレバー	2
4	アクスル連結ピン	1

1. ペダル支点部



注油位置（ドラム）_002

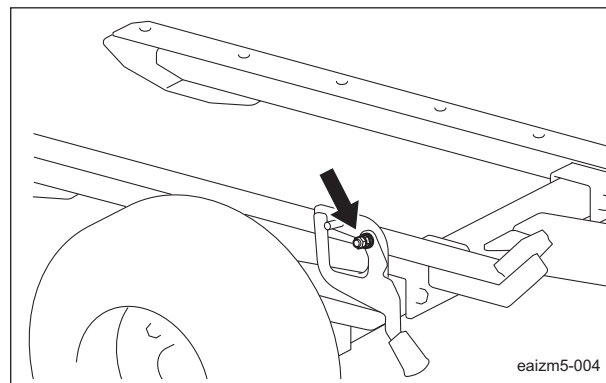
2. アクスルロックレバー



注油位置（ドラム）_003

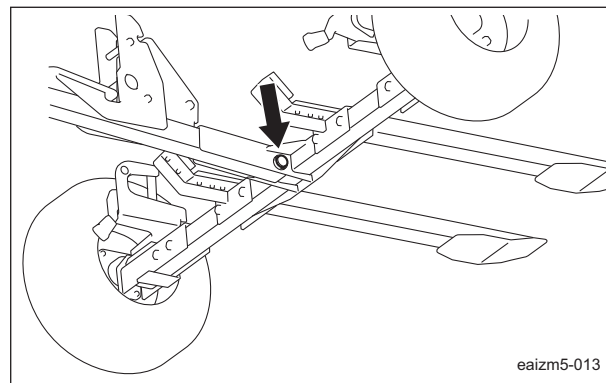
3. ドラム軸ロックレバー

左右に1か所ずつあります。



注油位置（ドラム）_004

4. アクスル連結ピン

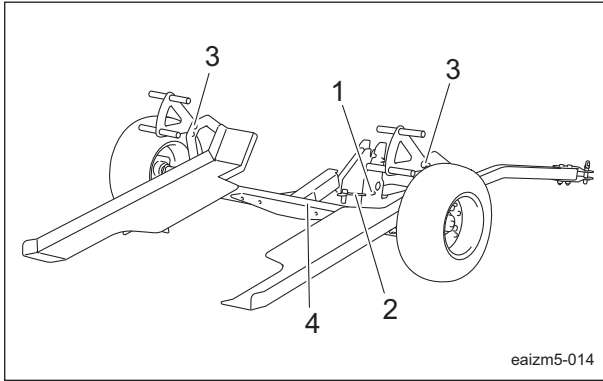


注油位置（ドラム）_005

注油位置（移動車輪）

参考：

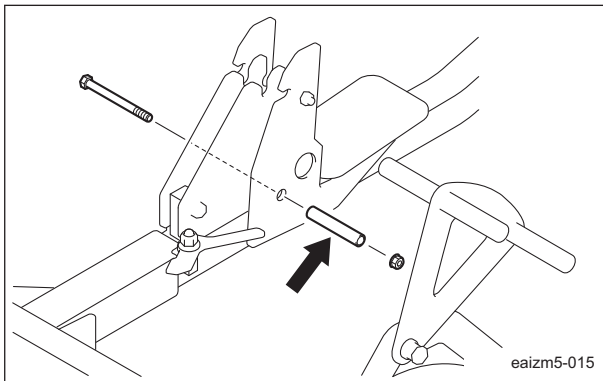
この機能は仕様により、無い場合があります。
次の場所に必要に応じて潤滑剤を塗布してください。



注油位置（移動車輪）_001

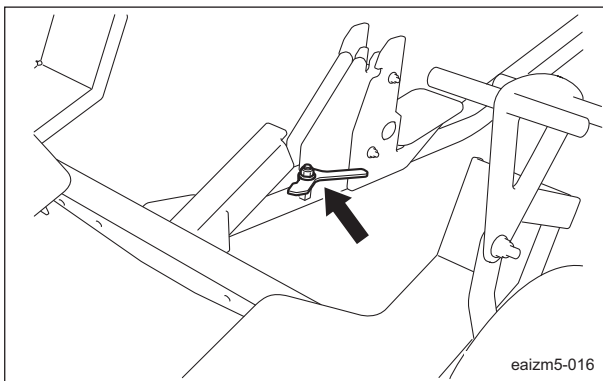
1	ペダル支点部	1
2	アクスルロックレバー	1
3	移動車輪ロックレバー	2
4	アクスル連結ピン	1

1. ペダル支点部



注油位置（移動車輪）_002

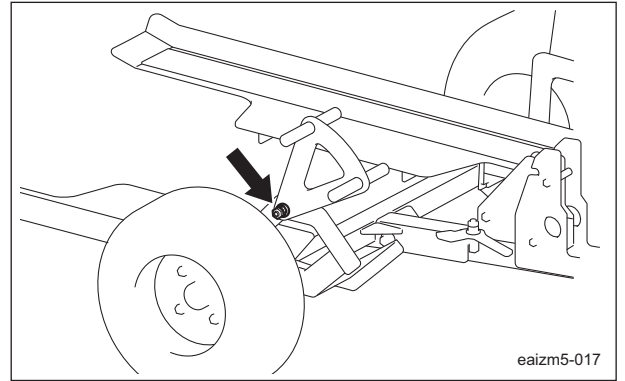
2. アクスルロックレバー



注油位置（移動車輪）_003

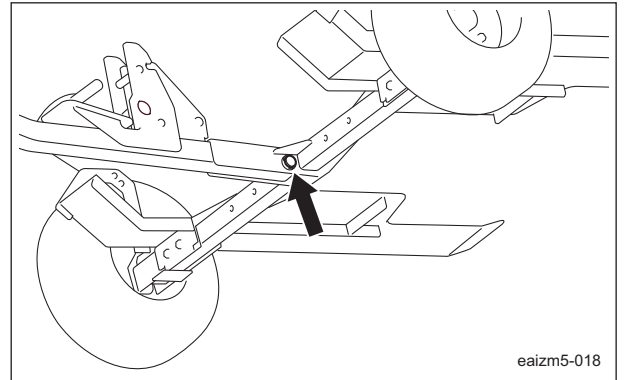
3. 移動車輪ロックレバー

左右に1か所ずつあります。



注油位置（移動車輪）_004

4. アクスル連結ピン



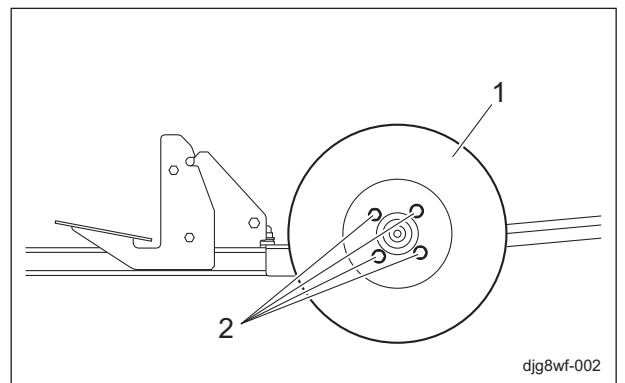
注油位置（移動車輪）_005

メンテナンスの方法

タイヤの脱着

タイヤの取り外しは、以下の手順で行います。

1. ボルトを取り外してください。



タイヤの脱着_001

1	タイヤ
2	ボルト

2. タイヤを持ち上げながら手前に引っ張り、取付座からタイヤを取り外してください。
3. 反対側のタイヤも同様の手順で取り外してください。

メンテナンス

▲ 注意

締め付けトルク一覧表を参照してください。
異常な締め付け、オーバートルクでの締め付けなどで生じた不具合については、弊社では責任を負いかねます。

重要

ボルトを締め付ける際は、締め付け順（対角）に締め付けてください。

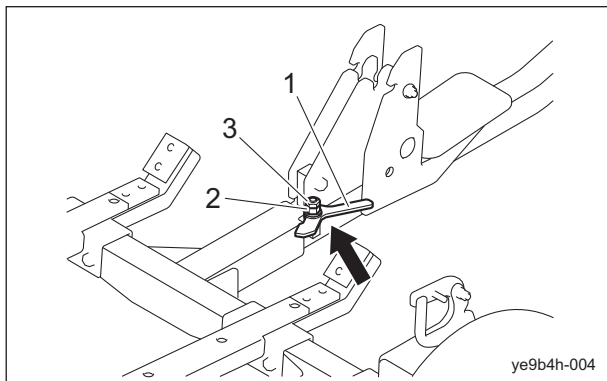
タイヤの取り付けは、取り外し手順の逆の方法で行ってください。

アクスルロックレバーの調整

アクスルロックレバーを指で押して動く程度に調整してください。

このときのアクスルロックレバーの操作力は、15 - 30 N-m (153 - 306 kgf-cm) です。

調整は、ナットの締め込みで行ってください。



アクスルロックレバーの調整_001

1	アクスルロックレバー
2	ナット
3	ロックナット

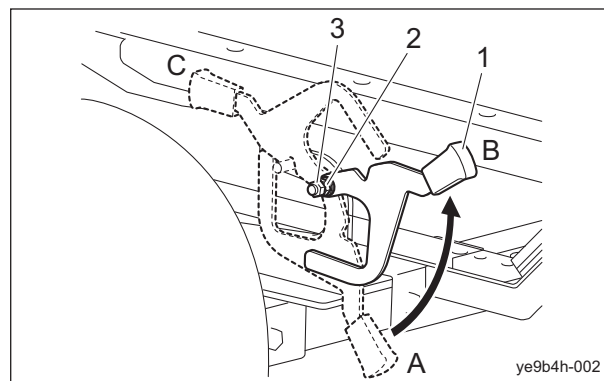
ドラム軸ロックレバーの調整

参考：

この機能は仕様により、無い場合があります。
ドラム軸ロックレバーをロック位置から 90° 持ち上げて手を放したとき、自重でドラム軸ロックレバーが動かない程度に調整してください。

このときのドラム軸ロックレバーの操作力は、30 - 50 N-m (306 - 510 kgf-cm) です。

調整は、ナットの締め込みで行ってください。



ドラム軸ロックレバーの調整_001

1	ドラム軸ロックレバー
2	ナット
3	ロックナット
A	ロック
B	90度位置
C	解除

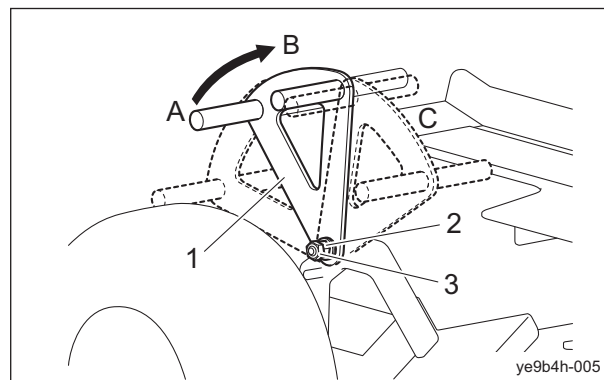
移動車輪ロックレバーの調整

参考：

この機能は仕様により、無い場合があります。
移動車輪ロックレバーをロック位置から 30° 動かして手を放したとき、自重で移動車輪ロックレバーが動かない程度に調整してください。

このときの移動車輪ロックレバーの操作力は、40 - 60 N-m (408 - 612 kgf-cm) です。

調整は、ナットの締め込みで行ってください。



移動車輪ロックレバーの調整_001

1	移動車輪ロックレバー
2	ナット
3	ロックナット
A	ロック
B	30度位置
C	解除

BARONESS[®]
Quality on Demand



株式会社 共 栄 社
〒442-8530 TEL (0533) 84-1221
愛知県豊川市美幸町1-26 FAX (0533) 84-1220